

(有)吉田敏一建築研究所

福島県郡山市桑野2-37-21
TEL.024-939-0645 FAX.024-939-0755
http://www.yoshida-ad.jp/

代表取締役・一級建築士 インタビュアー
吉田 敏一 × 阿藤 快
[俳優・タレント]



INTERVIEW
TOSHIKAZU YOSHIDA × KAI ATO

六〇〇軒以上の実績を生かし、プラスアルファを感じられる住まいを提案



阿藤 福島県郡山市の(有)吉田敏一建築研究所さんを訪ねました。まずは現在までの歩みを振り返って頂けませんか。

吉田 父親が木工だったことから建築の世界に入り、修業を重ね、当事務所を開設したのは昭和五十九年のことです。以来、住宅や店舗、医院、事務所などの建築・設計、分譲地の企画・立案、インテリアデザインなどに携わり、これまで設計をメインに約六〇〇軒の建物にかかわってまいりました。この十年は設計だけでなく企画から資材調達、職人の手配、そして現場での施工まで総合的に請け負う一貫型の事業展開でお客様に喜んで頂いています。

阿藤 なるほど。やはり依頼主は地元の方が多いのですか。

吉田 周辺を歩けば必ず自分が手掛けた物件が目に入りますが、地元で固執しているわけではなく、ご依頼があれば仙台や首都圏へも赴きます。東京都内には私が担当させて頂いた物件が三十軒近くあり、例えば、元総理大臣の邸宅がある住宅街では緑を取り入れた個性的な住宅を手掛けましたが、ロケーションの良い場所で建物をどう生か

そうかと考えながら、楽しく取り組んだことが印象に残っています。

阿藤 では、どんな建物でも絶対に譲れない信念があると思うのですが、そのあたりを教えてください。

吉田 どんな時も自分の価値観ではなく、あくまでもその建物に住まわれるお客様の心や気持ちを大切にしています。郡山のようないな地方都市では二世帯、三世帯住宅を建てる方が多いのですが、設計する上で私が最初に取り掛かるのは、ご家族が住まいに求めているもの——「心のよりどころ」を的確に把握することです。もちろんそれは各家庭によって異なりますから打ち合わせ段階でご家族の距離感を想像し、どんな空間が心地よいかを考えます。そうしますと、ご家族ならではのカラーが分かり、こだわりや雰囲気の見当がついてくるのです。このように住まわれる方々の心や気持ちをベースに設計し、一軒一軒完成させていくことで、皆さんにも満足感が生まれ、それが私どもへの信頼に繋がっています。

阿藤 医院や店舗の建築・設計も受注されていますが、そんな場合でも大切にされるのはやはり人の気持ちですか。

吉田 もちろんです。先日調剤薬局を手掛けましたが、私はオーナーの意向より、薬を受け取りに来られる患者さんの気持ちを第一に考えました。患者さんは診察を受けて調剤薬局へ来られますが、診察後すぐはあまり明るい気持ちでないことが多いものです。そこで薬局の四方から採光できるように建物に工夫を凝らし、利用される患者さんには光を浴びながら、病気の憂鬱

を少しでも明るい方向へ切り換えて頂きたいと考えてのことです。

阿藤 建物の中にいらっしゃる人の気持ちができるだけ汲み取り、いわば建物に心を吹き込んでいける——それが吉田代表の家造りの基本である。

吉田 はい。事務所を立ち上げた当初は、建物のフォルムや内装をいかに美しく仕上げるかに重点を置いていましたが、経験を積むうちに「形より建物の中に住まう方々の感受性やオリジナリティーを空間に生かしてこそ価値ある建物」という考えになりました。今では素材の配置や光、色彩のバランスにも気を配りながら、心身にストレスを感じることなく使用できる建物を完成させることが、私の一番大きなこだわりですね。

阿藤 長年のキャリアに裏打ちされた提案には説得力があるでしょうね。依頼する側にとっても安心して任せることができると思います。では、最後に将来へ向けての展望をひと言。

吉田 質の高い建物は時代が変わっても古びることなく、いつまでも人々に受け入れてもらえると思います。シンプルでありながらも心のこもった、それでいて良質の建物をこれから創造していくことが

私の使命だと考えます。また、町づくりの分野にも積極的に関わりたいと思っています。私たちが今ちょうど土地のオーナーさんに働き掛けているのが、賃貸の店舗と分譲住宅を融合させたスタイルのマンションです。分譲住宅の持ち主が同じ建物内の店舗も所有し、それを貸し出して賃料を得られるようなシステムを機能させれば、そのマンションの魅力は更に高まります。試算では購入後十六年くらいでローンを完済できますので、これからの様々な価値観を共有できるようなメリットのある建物を提案していきたいですね。

阿藤 非常に良いプランだと思います。高度な提案力で地域を活性化させて下さい。

① INFORMATION

“地球環境”と“人”にやさしく
誰もが居心地よい空間を創造

